

松江市小中一貫教育だより NO.4

小中一貫教育推進係 文責：安部

義務教育学校って、どんなところ？ part2



今回は義務教育学校八束学園についての紹介です。

八束学園が、「小中一貫校」として開校したのが平成23年1月、そして「義務教育学校八束学園」として開校したのが平成30年4月になります。

運営の軸を見てみると次のようになります。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
学年段階の区切り	前期ブロック（４）				中期ブロック（３）			後期ブロック（２）		
授業時間	４５分授業						５０分授業			
指導形態	学級担任制				（一部教科担任制）		教科担任制			
生き方教育	生活科・他		総合的な学習の時間・他							
交流活動	交流学习（３・８年牡丹学習、２・９年交流、各ブロック内での交流 等） 日常的な交流活動・縦割り班活動（清掃、体育祭の組 等）									
儀式	入学式				引継式			立志式	卒業式	
部活動						６年２学期後半から参加				

【生活時程】	前期課程（1～6年）	後期課程（7～9年）
登校 朝学習	～8:15 8:15～8:20	～8:15 8:25～8:35
朝 礼	8:30～8:45	8:35～8:40
1校時	8:50～9:35	8:45～9:35
2校時	9:45～10:30	9:45～10:35
サンタイム	10:30～10:45	
3校時	10:50～11:35	10:45～11:35
4校時	11:45～12:30	11:45～12:35
給 食	12:30～13:10	12:35～13:05
休 憩	13:10～13:35	13:10～13:35
掃 除	13:40～13:50	13:40～13:50
5校時	14:00～14:45	14:00～14:50
6校時	15:00～15:45	15:00～15:50
リピートタイム	10分間（中・後期ブロック）	
学級終礼	15:50～16:05	16:00～16:15
下校	16:10	17:00

「生活時程」では、子どもたちが円滑に学校生活を送ることができるよう、始業や終わりの時間をできるだけそろえる、区切りのチャイムを取り入れるなどの工夫が見られます。

※ □ 内はチャイム

また、中1ギャップへの対策として5年生から5段階評価を導入したり、6年生から期末テストを実施したりするなどの工夫も行っています。

義務教育学校八束学園 葛西校長先生にインタビュー!!

Q. ずばり、義務教育学校八束学園の「売り」は何でしょうか？

A. 学園最大の強みは、「1年生から9年生がともに集う」ということです。この強みを生かし、年間を通し、日常的に交流できるよう、掃除や体育祭や集会などの活動を「1年生から9年生までの縦割り班」で行っています。また、後期課程生がリトルティーチャーとして前期課程生に勉強を教える「八束っ子ぐんぐん算数」で活動をするなど、学園生同士の支え合いや学び合いの場を整えています。



学園生会（児童会生徒会活動）は、5年生から参加し、楽しく豊かな交流活動を実施しています。5年間にわたり、学園生会を通じて、「自分たちの生活は自分たちでつくっていく」という意識を育てています。

そして、地域やPTAの皆様には交流を大きく支えていただいています。この島特産の「ぼたん」による3・8交流学习では、学園教育推進会議の委員の方々が農園管理をしてくださり、8年生の修学旅行でのぼたん苗販売につながっています。

PTAでは、義務教育学校になったおかげで、小学校、中学校の境が無くなり、学年行事や地区活動等、交流の充実が一層進みました。

Q. 「義務教育学校」の利点は何であると感じますか？



A. 9年間を前期・中期・後期ブロックの3つの時期に分け、それぞれの時期の指導目標や指導形態を設定することで、現在の子どもたちの特性に合った、義務教育9年間の教育活動が展開できます。

前期ブロックは、「基礎・基本の定着期」と捉え、学級担任によるきめ細やかな指導を行います。中期ブロックは、「活用期」と捉え、学習習慣の確立を図り、論理的思考・判断力・表現力の向上に努めます。教科担任制を大きく導入し、専門性の高い学習を実施します。義務教育学校の教員が一体となった指導体制を組み、いわゆる中1ギャップに対応します。後期ブロックは、「発展期」と捉え、自ら学習に取り組む姿勢を重視し、自分の将来を意識した進路選択に向けて確かな学力を身に付けます。職場体験や地域活動への参加を通して、自己実現に向けた個性や能力の伸長を図ります。

4年生、7年生、9年生が各ブロックでのリーダー学年です。9年間で3回のリーダーを体験することで、子どもたちの自主性を伸ばしたいと考えています。

葛西校長先生、お忙しい中お答えいただき本当にありがとうございました。

松江市では、古江・大野・秋鹿の各小学校の統合と、これを契機として湖北中学校とともに義務教育学校への移行を目指しています。

この新しい学校は、令和11年の開校を目標としており、松江市立として3校目の義務教育学校となる見込みです。学校施設や名称、校章や校歌、制服、教育課程や学校行事等、通学路や通学方法など、決めなければならないことはたくさんありますが、地域の代表や学校関係者などによる「湖北地区統合小学校建設委員会」で話し合い、これから順次“かたち”にしていけます。その内容については、今後も情報をお届けします。